

オンラインの『留学』はありうるか 2021年度上半期の全国調査から

大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関する
サイバーシンポジウム

2021年11月19日

大阪大学国際教育交流センター 近藤佐知彦



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

ニューノーマルの大学間交流

- 留学生教育学会第26回年次大会（2021年8月21日）
- 仙石祐「日本及びアメリカのニューノーマル期の大学間学生交流の方針に関する比較考察/実践報告」
- 中野遼子・鈴木恵・木村多嘉子「日本におけるニューノーマル期の大学間学生交流の方針に関する考察/実践報告 -学校種類別による比較検討を中心に-」
- いずれの資料も以下のサイトからダウンロード可能
<https://newnormal-jointintlresearch.org/>

調査概要

【調査方法】

REAS（リアルタイム評価支援システム）を使用したアンケート調査

【調査期間】

日本調査

2021年2月19日～5月31日

海外調査

2021年3月1日～5月31日

【対象者】

国際交流に関して、大学を代表する立場の担当教職員

【回答数】

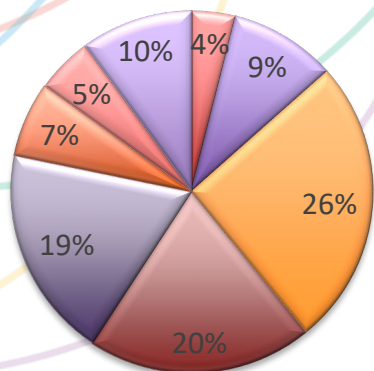
日本調査	179校
海外調査	85校

背景

- 2020年から現在まで、COVID-19感染拡大により留学交流が制限されている。
- 日本におけるニューノーマル期の大学間学生交流を明らかにすることを目的として、科研チームで日本の大学と海外（主にアメリカ、韓国、ドイツ、イタリア）の大学向けにアンケート調査を実施。
- 米国と日本を中心に「オンラインの留学」はありうるのか、を考える契機に

回答大学

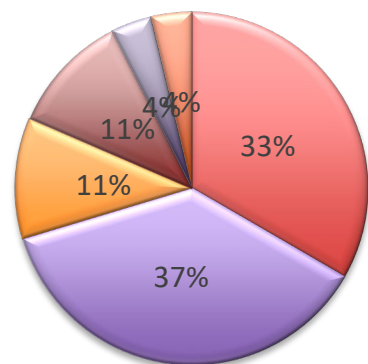
日本, 全179大学が回答



■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	Total
国立大学	4	7	16	16	12	5	5	9	74
公立大学	2	8	7	9	10	5	3	6	50
私立大学	1	2	23	11	12	2	1	3	55
Total	7	17	46	36	34	12	9	18	179

アメリカ, 全27大学が回答



■ 国公立大学 ■ 私立大学
■ リベラルアーツ・カレッジ ■ コミュニティ・カレッジ
■ 女子大学 ■ その他

西部	7校
中西部	4校
南部	10校
北東部	5校
その他	1校



日米比較

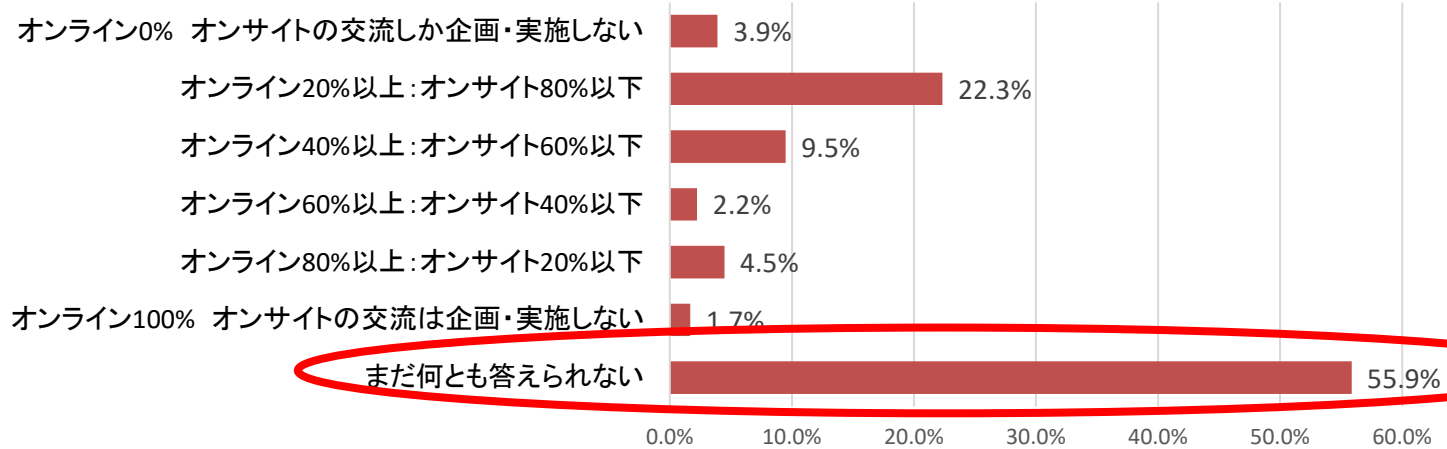
- ・ アメリカの大学の総数（約2600校）に比べると少ないサンプル数
- ・ 留学再開のガイドライン・方針の有無
 - ⇒ アメリカの大学の方がすぐにでも学生交流に関する対応が可能な状況を整えている可能性（危機管理意識の徹底）
 - ・ どのようなステークホルダーの意見を参考にするか
 - ⇒ 日本の大学…感染症対策に詳しい学内の教職員・学外専門家・国内大学のネットワークなどの意見や情報を幅広く参考にする。
 - ⇒ アメリカの大学…どの大学種別でも学外専門家の意見を最も参考する
 - ・ オンラインとオンサイトの比率
 - ⇒ 日本の大学…学生交流の方針や留学形態の決定に関しては慎重
 - ⇒ アメリカの大学…志向する学生交流はオンサイト重視
 - ・ 学生交流再開
 - ⇒ 日本の大学…徐々に学生交流を再開させる
 - ⇒ アメリカの大学…すぐにでも以前と同様のオンサイト交流を再開させる

感染症制御後の留学形態

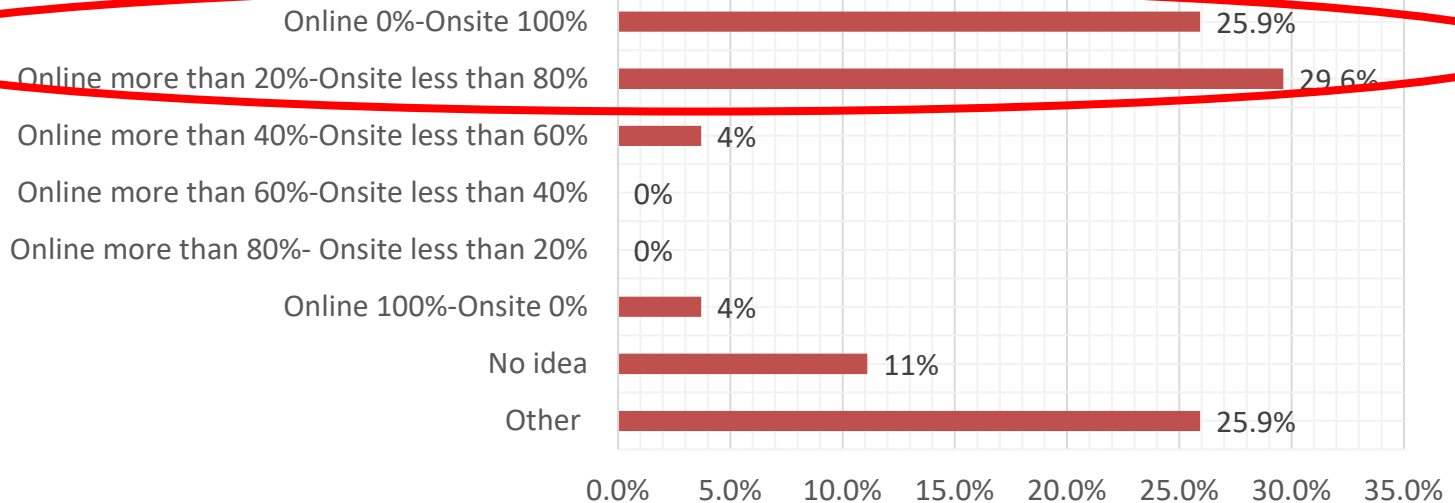


OPEN 2021

日本



アメリカ



日本の大学...半数以上が比率を決めかねている。アメリカの大学...オンサイト80%以上にしたい大学が半数以上。
日本の大学は、学生交流の方針や留学形態の決定に関しては慎重。アメリカの大学が志向する学生交流はオンサイト重視。

学生交流再開

日本

事情が許せば以前よりも大規模、また活発に開始します。

11.7%

交流が可能になったらすぐに以前と同じ規模や活発さに戻します。

20.1%

国境を越えた学生の交流は様子を見ながら徐々に再開します。

63.7%

わかりません

2.2%

その他

2.2%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

アメリカ

We will gradually resume on-site international student mobility.

33%

We will restart on-site international student mobility on the same scale as before as soon as the conditions are satisfactory.

41%

We will expand the scale of programs as soon as the conditions are satisfactory.

11%

Don't know yet.

4%

Other

11%

0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45%

日本の大学

- ① 現段階における大学間学生交流再開の方針、留学形態の見通しを中心とした分析を通して、日本の傾向を明らかにする
- ② 学校種類別に比較
- ③ 「病院あり」の大学の方が少し慎重

大学分類

文部科学省による「令和2年度規模別大学一覧」を参考に分類を行った。

(参考) 類型別大学数 (令和2年度) の内訳

大学類型名	類型基準
A型大学 (病院あり)	学部8学部以上
A型大学 (病院なし)	
B型大学 (病院あり)	学部5~7学部
B型大学 (病院なし)	
C型大学 (病院あり)	学部2~4学部
C型大学 (病院なし)	
単科大学 (病院あり)	学部1学部
単科大学 (病院なし)	

大学類型名	国立	公立	私立	合計
A型大学	20(18)	1(1)	44(15)	65(34)
B型大学	20(19)	10(9)	88(14)	118(42)
C型大学	19(17)	39(20)	269(19)	327(56)
単科大学	27(20)	44(20)	220(7)	291(47)
合計	86(74)	94(50)	621(55)	801(179)

()内は本調査回答校数



回答校概要

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	Total
国立大学	4	7	16	16	12	5	5	9	74
公立大学	2	8	7	9	10	5	3	6	50
私立大学	1	2	23	11	12	2	1	3	55
Total	7	17	46	36	34	12	9	18	179

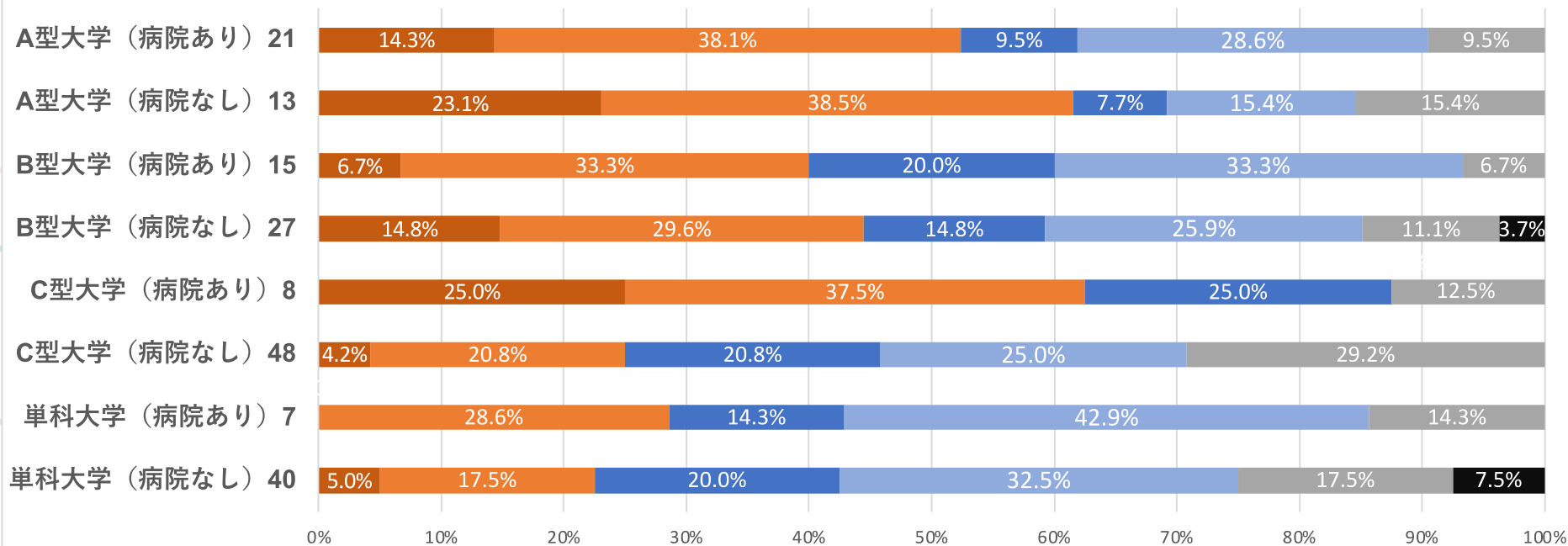
	A型大学 (病院あり)	A型大学 (病院なし)	B型大学 (病院あり)	B型大学 (病院なし)	C型大学 (病院あり)	C型大学 (病院なし)	単科大学 (病院あり)	単科大学 (病院なし)	合計
国立	18	0	13	6	6	11	2	18	74
公立	1	0	2	7	2	18	4	16	50
私立	2	13	0	14	0	19	1	6	55
合計	21	13	15	27	8	48	7	40	179
	34		42		56		47		

	病院あり	病院なし	合計
国立	39	35	74
公立	9	41	50
私立	3	52	55
合計	51	128	179

感染症制御後の学生交流に向けての準備 再開の方針



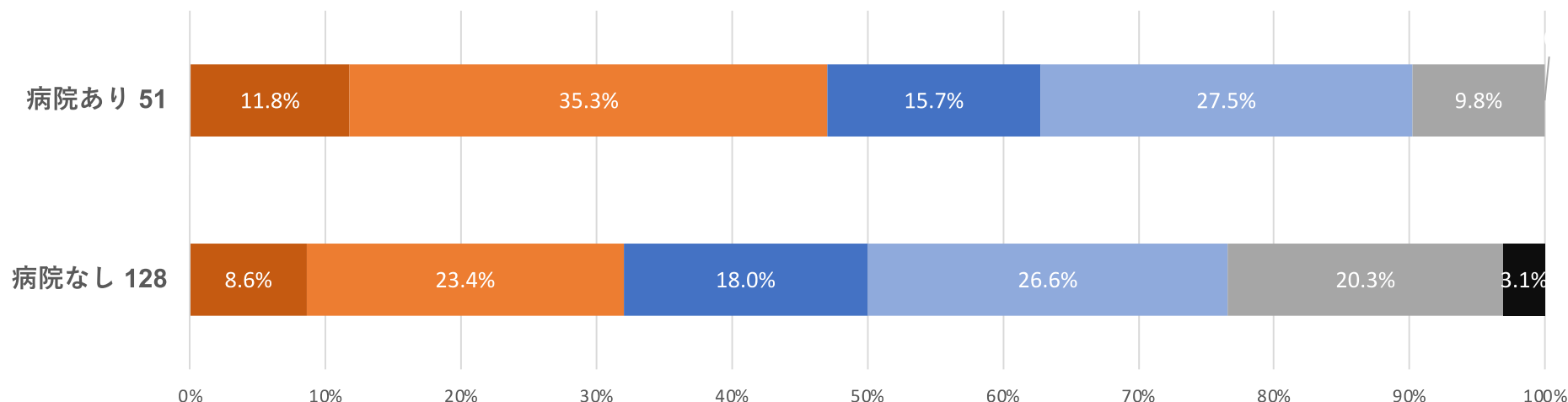
大阪大学



- 【はい】 私たちはパンデミック後のガイドライン・方針を定めています。
- 【はい】 私たちはパンデミック後に向けてのガイドライン・方針を定めつつある、もしくは検討中です。
- 【いいえ】 しかし、私たちは現在そういった方針制定について検討をはじめようとしています。
- 【いいえ】 しかし、私たちは方針を決めるための情報を収集中です。
- 【いいえ】 以前通りに留学交流を再開するだけですから、新たな方針は不要です。
- 【いいえ】 どこから手をつけて良いのかわかりません。

A型大学（病院あり・なし）とC型病院あり大学が、他より方針を決定している割合が多い。

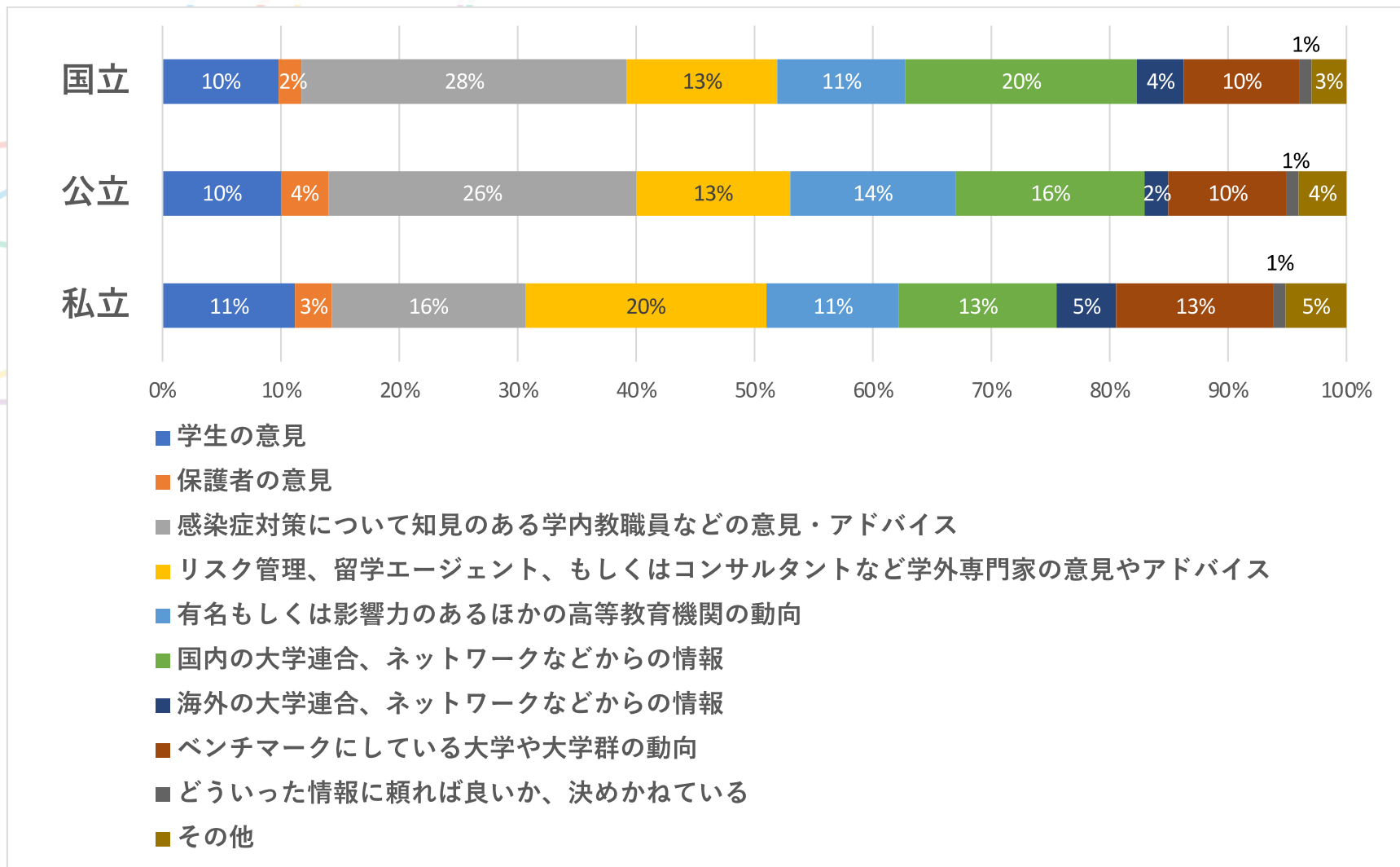
感染症制御後の学生交流に向けての準備 再開の方針



- 【はい】私たちはパンデミック後のガイドライン・方針を定めています。
- 【はい】私たちはパンデミック後に向けてのガイドライン・方針を定めつつある、もしくは検討中です。
- 【いいえ】しかし、私たちは現在そういった方針制定について検討をはじめようとしています。
- 【いいえ】しかし、私たちは方針を決めるための情報を収集中です。
- 【いいえ】以前通りに留学交流を再開するだけですから、新たな方針は不要です。
- 【いいえ】どこから手をつけて良いのかわかりません。

病院あり大学の方が、方針を決定している割合が高い。

留学再開に際し参考にする意見 3つまでで選択

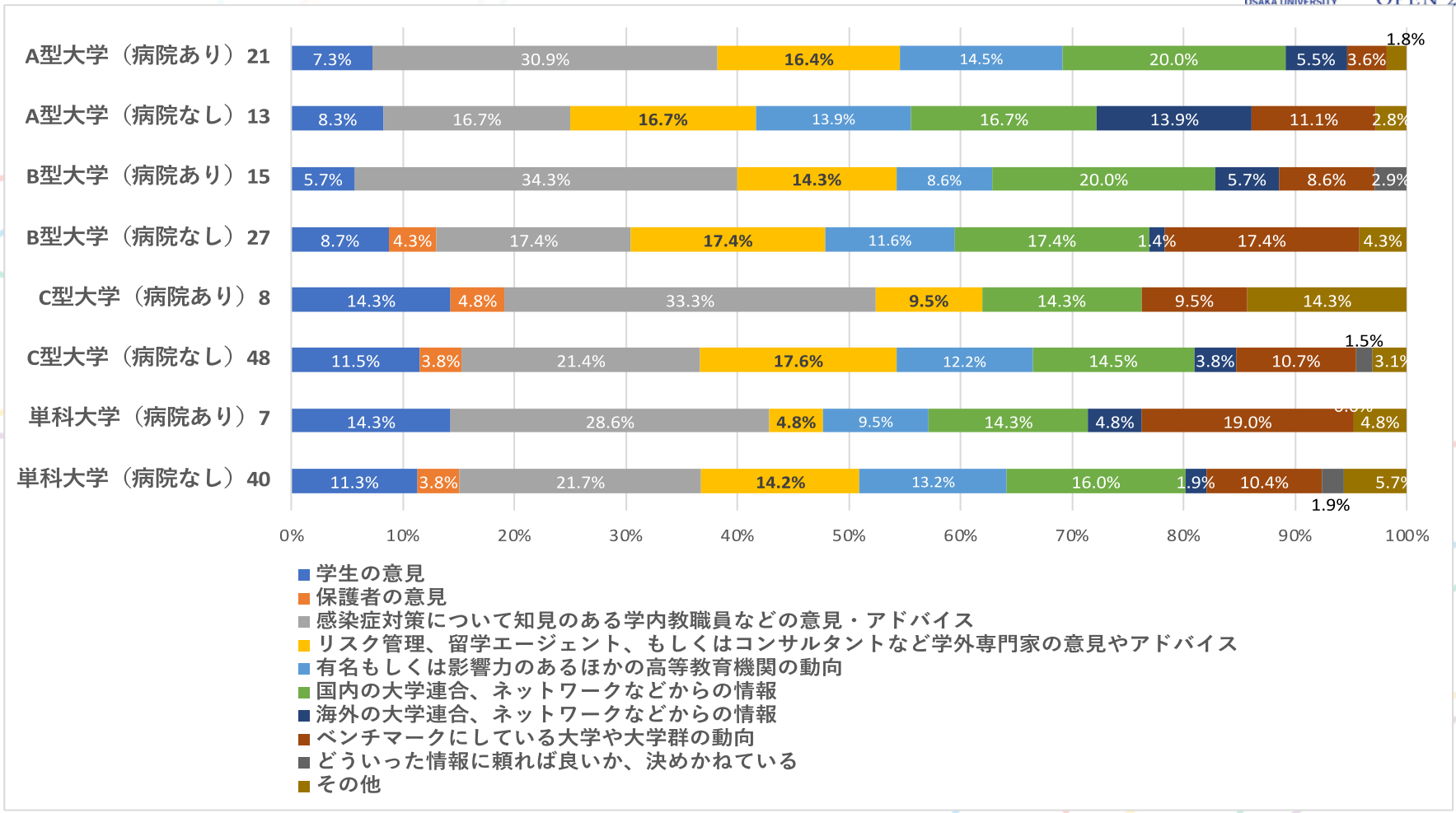


国立・公立は学内の意見を、私立は学外の意見を重視する傾向がある

3. 結果

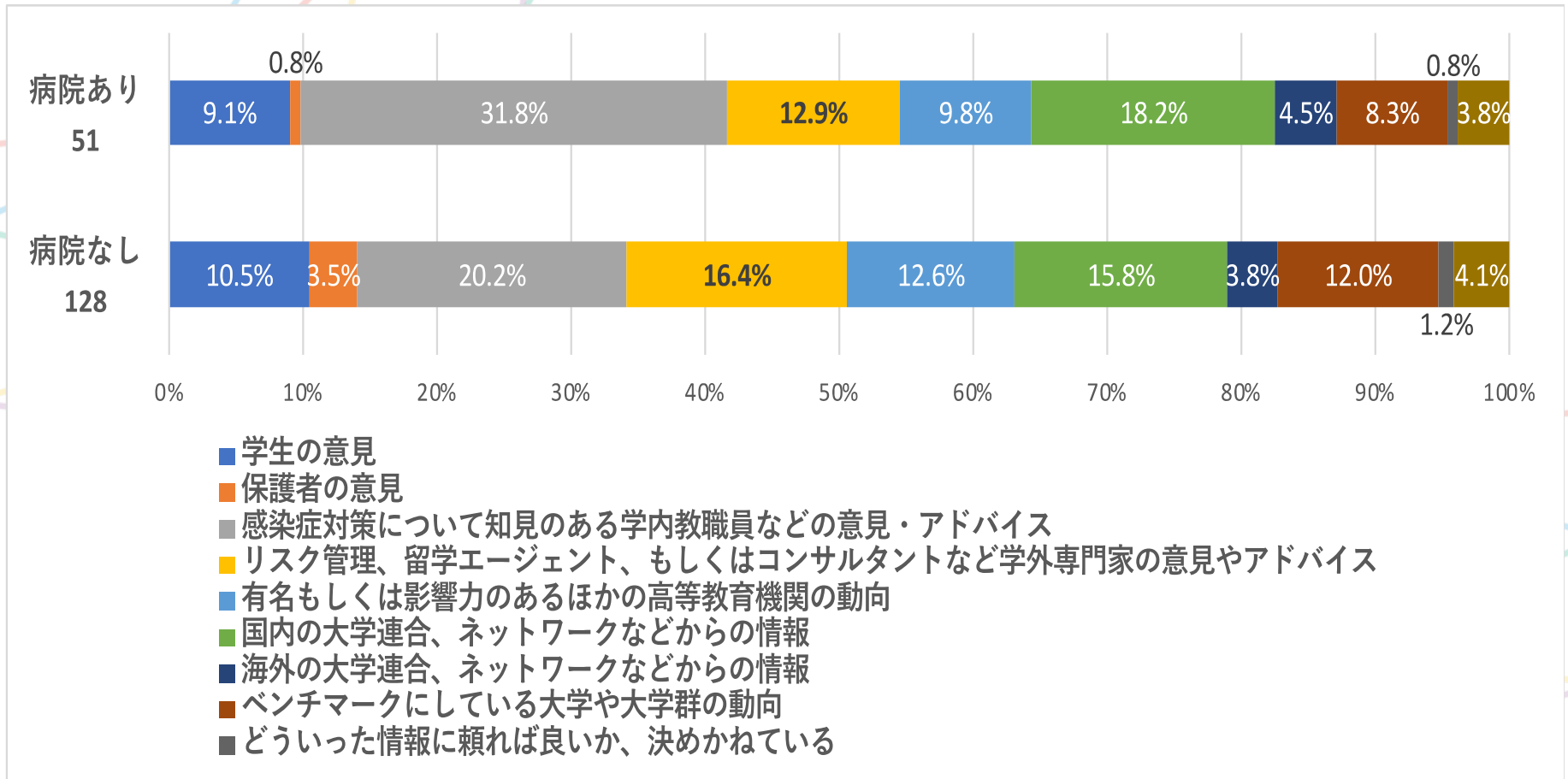
3.2 留学再開に際し参考にする意見

3つまでで選択



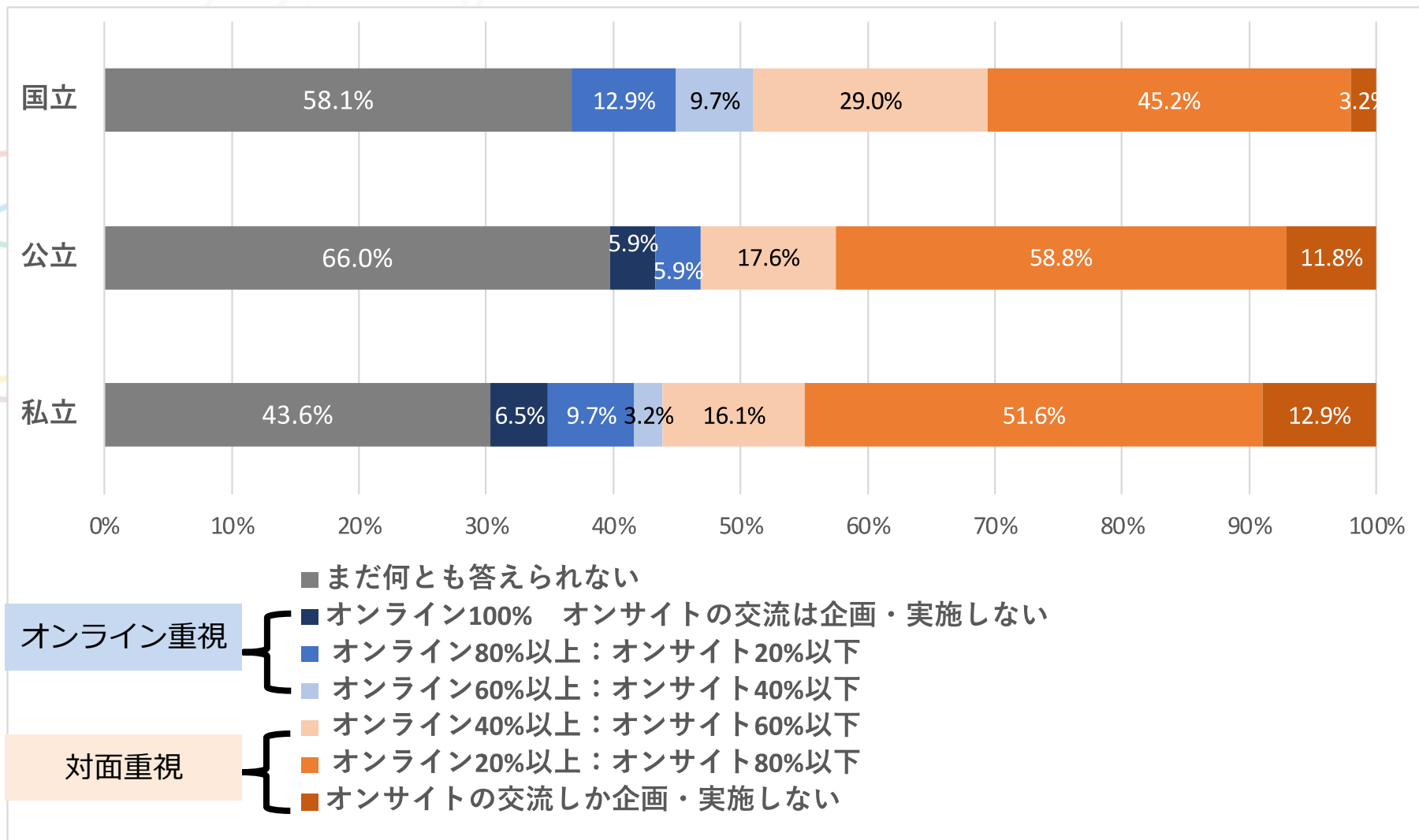
- A型大学とB型病院あり大学は、保護者の意見を参考にしていない。
- A型病院あり大学以外は、ベンチマークの大学を参考にする傾向がある。
- A型病院なし大学は、海外の大学連合を参考にする傾向がある。

留学再開に際し参考にする意見 3つまでで選択



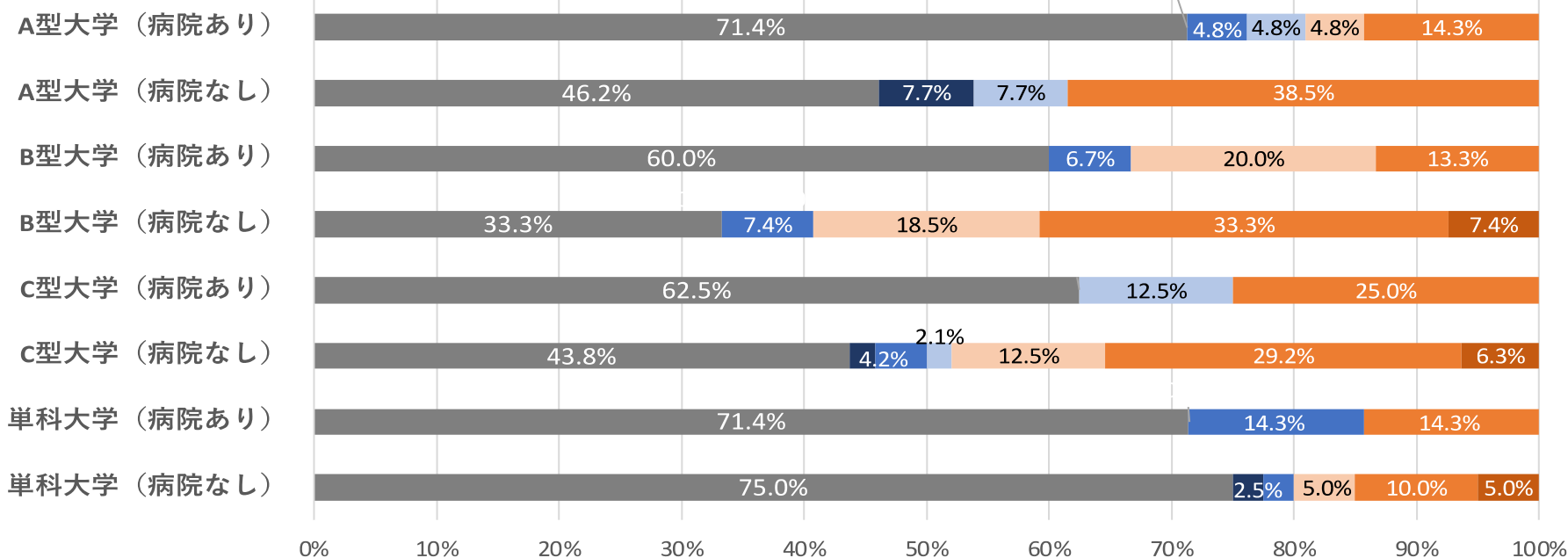
- 病院あり大学は学内の意見・アドバイスを参考にする割合が高い。

感染症制御後の留学形態（対面とオンラインの比率）



- 私立・公立は「対面のみ」「オンラインのみ」の回答が国立より多い。
- 国立はオンラインも取り入れた対面留学を進めようとしている傾向がある。

感染症制御後の留学形態（対面とオンラインの比率）



オンライン重視

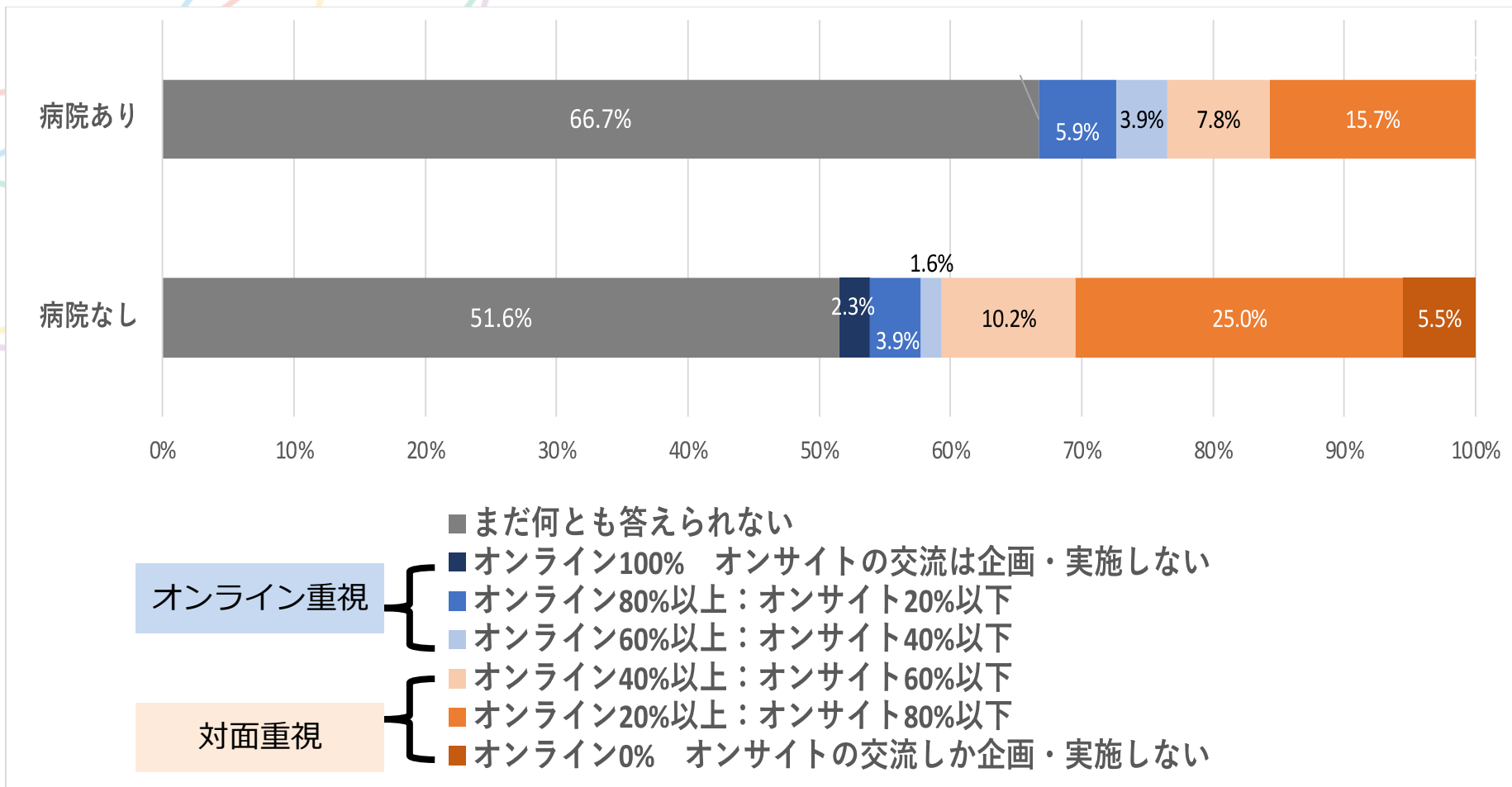
- まだ何とも答えられない
- オンライン100% オンサイトの交流は企画・実施しない
- オンライン80%以上：オンサイト20%以下
- オンライン60%以上：オンサイト40%以下

対面重視

- オンライン40%以上：オンサイト60%以下
- オンライン20%以上：オンサイト80%以下
- オンライン0% オンサイトの交流しか企画・実施しない

B型病院なしとC型病院なし大学が、最も対面留学を重視する傾向がある。

感染症制御後の留学形態（対面とオンラインの比率）



- 病院なし大学の方が対面留学を重視している傾向がある。



主なFindings

- 米国大学は学外プロの力を借りて対面即時復帰を目指す⇒米国はF1、J1ビザの交付を止めていない。
- 日本はオンラインに対する関心が高い。オンラインで置き換えてもいいと考える大学もある。
- 病院・医学部を持つ大学が対面に慎重（まだ決められない、が多いので決定的とは言えない）

今後のリサーチ・関心

- 「越境」しない「留学」は可能か
- オンラインに置き換えられない「異文化環境におけるまなび」があるのか
- インターネット世代（Z世代）の留学生にとっての「ホーム」と「ホスト」の割合